

特別支援学級 生活単元学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
 第5校時 13:45~14:30
 対 象 第3学年 3名
 第4学年 1名
 第5学年 6名
 第6学年 4名 計14名
 学 校 名 小学校
 授 業 者 〇〇 〇〇 (T1)
 〇〇 〇〇 (T2)
 会 場 教室

1 単元名 「なかよし交流会を開こう」

2 単元の目標

- ・交流会に必要な物を制作し、自分の役割を理解して動くことができる。【知識及び技能】
- ・希望する役割や交流会の内容を相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができる。
 【思考力・判断力・表現力等】
- ・準備や練習、交流会を通して、交流会に招く学年の友達と関わろうとしている。
 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
①自分の役割を理解して、役割に応じた動きができる。 ②はさみ、のり、マジック、クレパスなどの道具や材料を活用し、交流会に必要な物を工夫して作る事ができる。	①自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりして、交流会の内容を考えることができる。 ②自分が希望する役割を考え、選択することができる。	①友達と協力して、交流会の準備や練習をしようとしている。 ②交流会に招く学年の友達と、楽しく過ごそうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、以下の学習指導要領等を参考にして、設定した。
 学校教育法施行規則

小学校学習指導要領（平成29年3月告示） 第2章 各教科 第1節 国語

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容〔思考力・判断力・表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1)話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する オ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと
--

小学校学習指導要領（平成29年3月告示） 第2章 各教科 第7節 図画工作

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容 A 表現 (2)表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。

小学校学習指導要領（平成29年3月告示） 第6章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕 2 内容 (1)学級や学校における生活づくりへの参画 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

3 人間関係の形成 (4) 集団への参加の基礎に関すること。 6 コミュニケーション (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。
--

(2) 児童観

本学級の児童は、一人一人の実態に合わせて各学年の通常の学級の学習に交流学习として参加している。学習や活動の内容によるが、担任や講師、交流学級の児童のサポートを受けて参加する場面が多い。本單元では、3組（特別支援学級）が主催者となって2～4年の各学級との交流会を開くことで、より主体的な学習活動が行えるようにする。また、国語の学習で取り組んでいる「書くこと」や、「読むこと」、道徳や学級活動で取り組んでいる「自分の思いや考えを伝えること」や、「友達の気持ちや意見を聞くこと」を生かした活動を設定することで、学んだことを使うことの喜びを感じられるようにする。

(3) 教材観

本單元は、「なかよし交流会」を開催するための企画・立案、計画・準備、交流会の開催という流れで構成されている。児童は、普段の生活や学習で身に付けたことを生かして、交流会の開催という目的を目指して活動に取り組む。本学級で交流会を行うのは3年ぶり、以前と内容が変わっていることもあり、学級でのお楽しみ会やお別れ会等を行った経験を振り返る時間を設け、交流会の内容や、必要な役割を考えられるようにすることで、各学年の友達を思い浮かべて、何をしたいか、何が必要かなどを考えて準備をすすめていく。教師は、児童の思いを受けて、学習してきたことを思い出すような声掛けや、実現するために必要なことについて助言を行い、児童が中心となって「なかよし交流会」を作り上げられるようにする。

5 年間指導計画における位置付け

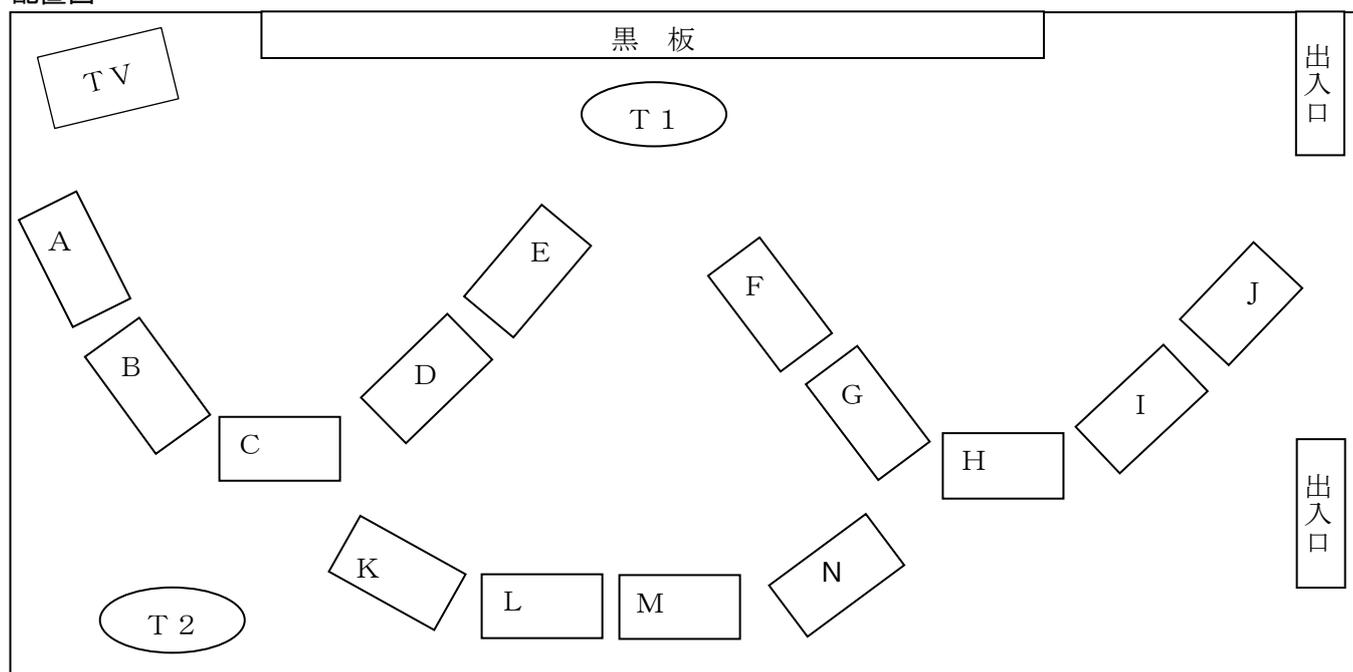
前期	後期
「交流クラスで自己紹介をしよう」 「離任式でありがとうを伝えよう」 「夏野菜を育てよう」 「運動会を成功させよう」 「なかよし交流会を開こう」(本單元) 「にじのゆうびん屋さん」 「校外学習に行こう」 「宿泊交流会をしよう」 等	「宿泊学習に行こう」 「冬野菜を育てよう」 「学芸会を成功させよう」 「年賀状を書こう」 「お正月遊びをしよう」 「カレンダーを作ろう」 「卒業生を送る会を成功させよう」 「3組文集を作ろう」 等

6 単元の指導計画と評価計画（全 10 時間）

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）		
			ア	イ	ウ
1	「なかよし交流会」を行うことを知り、交流会で行いたいことを考える。	・2～4年生と「なかよし交流会」を行うことを知る。 ・プログラムやゲームを考える。		① (観察)	① (観察)
2	「なかよし交流会」で行うことを決め、役割分担をする。	・プログラムやゲームを決める。 ・必要な役割を考え、役割分担をする。		② (観察)	① (観察)
3 (本時)	「なかよし交流会」に向けて、練習をする。	・担当する学年、役割に合わせて練習をする。	① (観察)		① (観察)
4	「なかよし交流会」のプログラムを作る。	・担当する学年の「なかよし交流会」のプログラムを作る。	② (観察)		① (観察)

5	2年1組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)
6	2年2組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)
7	3年1組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)
8	3年2組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)
9	4年1組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)
10	4年2組と「なかよし交流会」をする。	・練習してきたことをもとに、「なかよし交流会」を開催する。	① (観察)		② (観察)

7 配置図



8 指導に当たって

(1)指導形態の工夫

- ・話し合いや役割分担が行いやすいよう、4～5人組でのグループ活動を設定した。
- ・安心して学習することができるよう、児童の実態や人間関係を考慮したグループ編成をした。
- ・児童の実態や学習評価を授業者が共有し、TTにおいて適切な指導や支援を行えるようにした。

(2)指導方法の工夫

- ・学習への関心や意欲が高まるよう、単元の設定を児童の「やってみたい」から設定した。
- ・児童の主体的な活動になるよう、プログラムやゲームの決定、原稿に書きたいことなど、児童の考えを中心に学習をすすめていく。

9 本時（全 10 時間中の第 3 時）

(1) 本時の目標

- ・交流会での自分の役割を理解し、練習に取り組むことができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 5分	<p>○あいさつをする。</p> <p>○前時までの振り返りをする。</p> <p>○本時のめあて、学習の流れを確認する。</p>	<p>・本時において何を目指して、何をするのかが分かるようにする。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <small>こうりゅうかい む</small> 交流会に向けて、練習をしよう！！ </div>		
	○よい読み方のポイントを確認する。	・全員でポイントを確認する	
展開 ① 15分	<p>○担当学年ごとのグループで練習をする。</p> <p>・互いの役割を確認しながら、練習に取り組む。</p> <p>○読み方についての感想を伝え合い、さらに練習をする。</p> <p>・友達の読み方のよいところを伝える。</p> <p>・さらによくするように練習に取り組む。</p>	<p>・友達の声気が気になる場合には、教室内で場所を移動してよいことを伝える。</p> <p>・よい読み方のポイントをもとに、友達のよいところを伝えられるようにする。</p>	<p>ウー①</p> <p>友達と協力して、交流会の準備や練習をしようとしている。</p> <p>(観察)</p>
展開 ② 20分	<p>○グループごとに他のグループに向けて練習の成果を発表する。</p> <p>・グループごとに前に出て、全体の前で発表をする。</p>	<p>・発表者が読みやすいように、聞き方について指導をする。</p> <p>・一人一人のよかったところを伝えられるようにする。</p>	<p>アー①</p> <p>自分の役割を理解して、役割に応じた動きができる。</p> <p>(観察)</p>
まとめ 5分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>・自分や友達のよかったところを発表する。</p> <p>・本番に向けて頑張りたいことを発表する。</p> <p>○次回の学習の予定を知る。</p> <p>○あいさつをする。</p>	<p>・練習に取り組む態度も含めて、よかったと思うことを発表できるように言葉掛けをする。</p> <p>・見通しがもてるように、次回の学習で行うことを伝える。</p>	

(3) 板書計画

<p>こうりゅうかいむ れんしゅう 交流会に向けて、練習をしよう！！</p>	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none">・大きな声で読むことはできた。・ちゃんとれんしゅうできた。・よいしせいで、よむことができた。・〇〇さんの読み方が上手で、聞きやすかった。・つかえちゃったから、すらすらと読めるようにしたい。・もっと聞きやすいように読みたい。	<p>じゅぎょうながれ 授業の流れ</p> <p>1 ポイント のかくにん</p> <p>2 れんしゅう① (グループ)</p> <p>3 れんしゅう② (ぜんたい)</p> <p>4 ふりかえり</p>
<p>よい読み方のポイント</p>		
<ul style="list-style-type: none">○よいしせいで、せなかピン！！○みんなに聞こえるように大きめの声で！！○分かるように、ゆっくり、はっきり！！		

(4) 授業観察の視点

- ・児童の主体的な活動のために、本時の展開や支援は有効だったか。
- ・よりよい交流会を行うために、協力して練習に取り組むことができていたか。